

イントラロックスの検知可能ベルトで 食品安全性を強化しましょう

Intralox®のX線検知可能および金属検知可能コンベアベルトは、工場全体のさまざまな用途で利用でき、食品安全のプログラムと管理の強化を実現します。どのベルト仕様がFDA準拠、EU適合、3A Dairy検査済みかを知りたい方、金属検知用球体テストピースカードをご希望の方はイントラロックス・カスタマーサービスまでお問い合わせください。

検知可能MXアセタール

検知可能MX(金属およびX線)アセタールは、異物による汚染が懸念される食品加工業界用途向けに開発されました。このベルト材質は、金検またはX線検査器で検知できるよう設計されています。この材質に使われている添加剤は、食品に安全な成分のみを配合して開発されたものです。温度範囲は-50°F~200°F (-46°C~93°C)です。

本製品は、次のベルトシリーズとスパイラル付属品の一部のスタイルで取り揃えています。

- 2800シリーズ・ダイレクトドライブ™
- 2900シリーズ・ダイレクトドライブ
- スパイラル付属品: サイドガードおよびレーンディバイダー

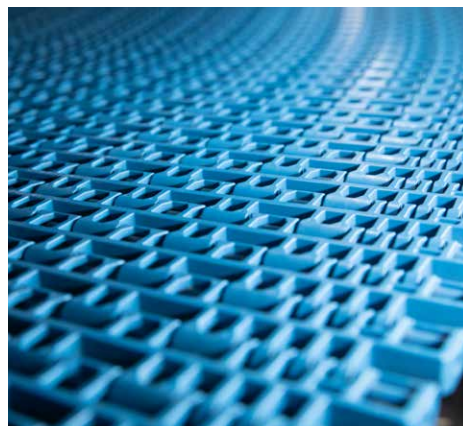
金属検知可能

金属検知可能ポリプロピレンおよびアセタールは、金検またはX線検査器で検知することができます。そのため、これらの検査器を通る前段階で使用してください。これらの材質*は錆びたり、危険な繊維を露出させることはありません。温度範囲はポリプロピレンでは0°F~150°F (-18°C~66°C)、アセタールでは-50°F~200°F (-46°C~93°C)です。これらの材質は、34°F(1°C)を超えた温度において優れた耐衝撃性を発揮します。

次のベルトシリーズから選択できます。

	アセタール	ポリプロピレン
800シリーズ	✓	✓
900シリーズ	✓	✓
1000シリーズ	✓	
1100シリーズ	✓	✓
1500シリーズ	✓	✓
1600シリーズ	✓	
1650シリーズ	✓	
2400シリーズ	✓	
2700シリーズ	✓	

*金属検知可能アセタールの色にばらつきが見られる場合がありますが、性能に影響はありません。

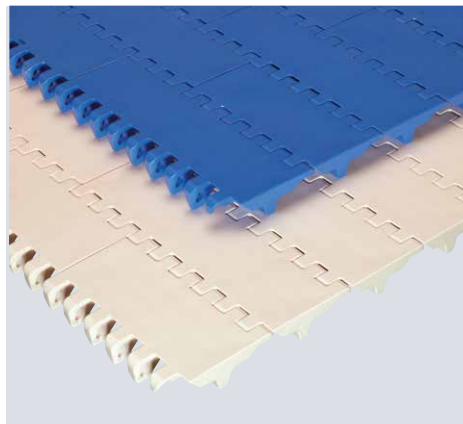


X線検知可能

X線検査用に特別に設計されたX線検知可能材質は、食品加工業用途で異物混入リスクを防止するために開発されました。広い温度範囲 (-50°F ~ 200°F; -46°C ~ 93°C) で有効です。*

次のベルトシリーズから選択できます。

- 800シリーズ
- 1100シリーズ
- 1800シリーズ



イントラロックスの検知可能ベルトについて詳しくは、[イントラロックス・カスタマーサービスにお問い合わせください](#)。

**検知感度を設定するには、生産環境においてX線検査／金検を使ってこれら材質の試験を行うのが最良の方法です。